

もうすぐ夏休み

7月下旬になり、1年生が世話をしているあさがおはきれいな花を咲かせ、2年生が育てているミニトマトは赤い実をたくさんつけています。暑い日が続きますが、子どもたちは毎日がんばって学習に取り組んでいます。

今年の梅雨は雨の日が続きました。業間や昼休みに外へ出られず室内で過ごすことが多かったのですが、やっと晴れたと思ったら、今度は暑すぎて外へ出られないという日がありました。でも室内で



「あさがおの観察」

過ごさなければならない日、船穂小学校の子どもたちは、ろうか、階段、教室内を走る子がいません。そんなの当たり前と思われるかもしれませんが、室内での過ごし方として、これはすばらしいことです。船穂小学校の子どもたちの良いところをまた見つけることができ、うれしく思いました。



「ミニトマトがいっぱい」

もうすぐちょっと短めの夏休みが始まります。夏休みならではの経験をたくさんしてほしいところですが、今年はコロナの影響でなかなか難しいかもしれません。それでも子どもたちにとって楽しい夏休みになることを願っています。

い草

船穂小学校の校歌に「い草」という言葉が入っています。ところがほとんどの子どもたちは、い草を見たことがありません。い草がどんなものかぜひ知ってほしいということで、船穂公民館の館長さんが運動場のうさぎ小屋横にい草を植えてくださいました。今が成長のピークです。触ってみると結構固く、しっかりしています。この頑丈さが畳表にはちょうどよいでしょう。子どもたちもぜひ触って、い草がどんなものか感じ取ってほしいです。



「大きく育ったい草」

2学期以降も、船穂小学校の全職員で、できる限りの感染症対策をしながら学習を進めていきます。授業時数の不足が話題になることがあります。船穂小学校は土曜授業や夏休みの短縮でなんとか不足分を補うことができている。保護者の皆様には行事の変更などで多大なるご迷惑をおかけしていることとは思いますが、これからも変わらぬご支援をお願いいたします。